

防災 減災 知恵袋

Vol.53 水道管の凍結に注意しましょう

気温が氷点下4℃以下になると、水道が凍結しやすくなります。

屋外や北側で日が当たらない場所、風の強いところ、水道管がむき出しになっているところは特に注意が必要です。

水道管が凍結すると、私たちの生活に必要なライフラインが止まってしまったり、水道管が破裂し建物や敷地等が浸水してしまうおそれがあります。

ご自宅の水道管を確認し、天気予報に注意しながら水道管の凍結防止対策をしましょう。



過去の防災・減災知恵袋も市 HP で確認できます。

問 防災安全課 内線 2135



～水道管の凍結で注意したいポイント～

こんな場合は注意が必要！

- 最低気温が-4℃以下になるとき
- 災害時の避難や家を留守にするなど、長時間水道を使用しないとき
- 建物の外壁際などに水道管が露出している場合
- 北向きの日陰や風あたりが強いところに水道管がある場合

水道管の凍結防止対策

- 水道管の保温・・・水道管に保温材を巻き付け、直接外気に触れないようにする。
- 水抜栓の使用・・・冷え込むことが予想される日は、水道管の水抜きをしておく。

水道管が凍結してしまったら？

凍結したところにタオルなどを巻き付けて、ぬるま湯をゆっくりとかけてください。

ハンドルを無理に回したり熱湯をかけると、破裂したり破損するおそれがあります。

万が一、水道管に破裂などの損傷が発生した場合は、止水栓を閉め、むつ市水道お客さまセンター (0175-31-1132) に連絡してください。